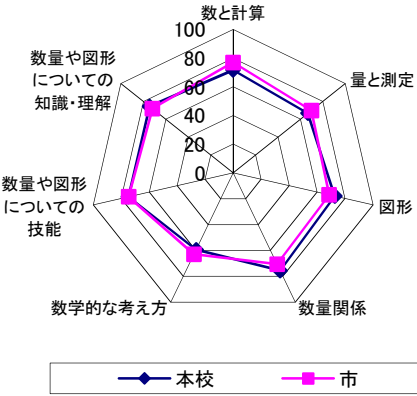


宇都宮市立清原東小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	71.7	77.0	70.4
	量と測定	66.6	69.8	68.5
	図形	72.7	68.6	72.4
	数量関係	75.6	70.6	60.4
観点別	数学的な考え方	59.5	63.0	54.8
	数量や図形についての技能	74.9	74.7	67.3
	数量や図形についての知識・理解	74.5	72.0	74.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
（算数では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。）



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	●平均正答率は、市の平均を下回っている。 ○分数のかけ算、ひき算の計算はできた。 ●小数第一位×小数第一位の計算において積の小数点移動ができず、誤答が見られる。	・朝の学習や家庭学習などで繰り返し学習し、定着をはかる。授業で、計算の習熟を図る時間を多く設ける。
量と測定	●平均正答率は、市の平均を下回っている。 ○面積の求め方はよく理解している。 ●積の求め方の理解や、展開図から見取り図をイメージして体積を求めることができず、誤答が見られる。	・展開図から見取り図をイメージする力が不足している ので、展開図から見取り図へ変化していく様子の動画を 繰り返し見せたり、実際に展開図を組み立てる体験活動 を取り入れることで定着を図る。
図形	○平均正答率は、市の平均を上回っている。 ○合同な三角形の作図の仕方をよく理解できて おり、正しい作図ができた。 ●線対称の対応する点についての理解が不足し ており、誤答が見られた。	・朝の学習や家庭学習などで繰り返し学習し、定着をは かる。時間を取って個別指導をする。
数量関係	○平均正答率、市の平均を上回っている。 ○文字を使って2つの数量の関係を式に表したり、 帯グラフから割合を正しく読み取ったりするこ とができた。 ●比を使って部分の量から全体の量を求める方 法の理解が不足しており、誤答が見られた。	・全体と部分の関係を線分図に表し、そこから立式する ことに練習問題で繰り返し取り組み、定着を図る。時間 を取って個別指導をする。